

新地方公会計制度 平成24年度財務書類4表を公表

平成26年2月1日発行

財政課

☎229-3124 FAX 229-3388

新地方公会計制度に基づき、平成24年度の一般会計と全ての特別会計を合算した市全体の財政状況が分かる「財務書類4表」の概要をお知らせします。

貸借対照表

資産の部

減価償却により資産価値が約189億円減少

市は道路や下水道などのインフラ資産や、学校や庁舎などの事業用資産、現金などの金融資産など多くの資産を保有していますが、インフラ資産などの非金融資産の経年劣化による資産価値の低下(減価償却)で、総資産は前年比約189億円減少し、約8,692億円となっています。

平成25年3月31日現在

負債の部

地方債の返済で負債総額が約35億円減少

市ではさまざまな施設を整備するために地方債を発行してきましたが、平成24年度では、過去に発行した地方債の返済を進めるなどして、負債総額は前年比約35億円減少しました。資産総額から負債総額を差し引いた純資産の額は前年比約154億円減少し、約6,469億円となりました。

単位：百万円

資産の部(これまで積み上げてきた資産)				負債の部(将来の世代が負担する金額)					
勘定科目	24年度	23年度	前年比	勘定科目	24年度	23年度	前年比		
金融資産	資金 現金・預金など	10,053	11,601	▲ 1,548	流動負債	公債(短期) 翌年度償還予定額	15,693	15,749	▲ 56
	債権 未収金・貸付金など	7,280	7,944	▲ 664		その他 未払金、賞与引当金など	2,209	2,203	6
	有価証券	0	0	0	合計	17,902	17,952	▲ 50	
	投資など 出資金・基金など	30,839	29,752	1,087	非流動負債	公債 公債残高のうち翌々年度以降償還予定額	175,873	179,726	▲ 3,853
合計	48,172	49,297	▲ 1,125	退職給付引当金		28,289	28,039	250	
非金融資産	事業用資産 庁舎、保育所、小中学校、福祉施設など	179,339	182,951	▲ 3,612		その他	281	131	150
	インフラ資産 道路、公園、下水道、水道など	641,688	655,784	▲ 14,096		合計	204,443	207,896	▲ 3,453
	その他資産	37	82	▲ 45	負債の部合計	222,345	225,848	▲ 3,503	
合計	821,064	838,817	▲ 17,753	純資産の部(現在までの世代が負担した金額)					
資産合計	869,236	888,114	▲ 18,878	純資産	646,891	662,266	▲ 15,375		
				負債・純資産資産合計	869,236	888,114	▲ 18,878		

◆市民1人当たりの貸借対照表

市民1人当たりの貸借対照表は、上記の貸借対照表の値を平成25年3月31日現在の本市の住民基本台帳人口28万5,614人で割ったものです。市民1人当たりの資産は約304万円、負債は約78万円、純資産は約226万円となっています。

資産 約304万円 うち事業用資産63万円、 インフラ資産225万円	負債 約78万円 うち借金(公債)残高67万円
	純資産 約226万円